

「地域に愛される美容室」を经营理念に地域密着で全世代に親しまれてきた美容院を長女に引継ぎ(親族承継)

～ 大山崎町商工会・京都府よろず支援拠点 連携支援事例 ～

有限会社ハッピーベース (長岡京市開田)

経営者：福元剛志さん(70歳)

後継者：加治涼香さん(42歳)・・・長女(従業員)

相談者(事業所)の概要

- ▶1984年に現経営者(福元剛志さん)が京都府長岡京市にて創業し1990年に法人化、創業当時から「お年寄りでも体の不自由な方でも利用できるお店」をコンセプトに、店舗の玄関をガラス張りにするなど入り易い店づくりにも心掛けてきた。馴染み客は近隣住民が中心で、年齢層は幅広く親子3代にわたって利用している常連客もいる。
- ▶福元さんは、当社のほか関連会社として大山崎町で有限会社マリンペーパー(美容院)を経営しており、現在は長男が店長を務めている。(大山崎店)



現経営者(中央左)と後継者(中央右)、両端は櫻田公認会計士(左)と上門経営支援員(右)
(支援のきっかけとなった大山崎町商工会 玄関前にて)

支援の経緯

- ▶福元さんは70歳の節目を迎える今年、既に従業員として店舗を切り盛りしていた長女(加治涼香さん)へ事業承継の話を持ち掛け、話し合いの結果、引継ぎの意思を確認することができた。
- ▶長女による事業承継を機に、店舗改装など新たな取り組みに「事業承継引継ぎ補助金」の活用を考え、大山崎町商工会に相談に行ったところ担当の経営支援員から親族承継を着実に進めるための相談先として当センターを紹介された。
- ▶ご相談内容としては、①事業承継引継ぎ補助金を活用したい、②経営者としてのスキルを習得したい ③親族承継の具体的な進め方を教えてほしい、というものであった。

当センターの支援

- ▶当センターでは、前述の相談①については事業承継引継ぎ補助金の概要のご説明を行うと同時に京都府よろず支援拠点の紹介を行なった。②と③については事業承継計画の策定を支援するためにアドバイザーの活用を薦め、当センター登録の外部専門家(公認会計士・税理士)を派遣した。



有限会社ハッピーベース(最寄り駅はJR「長岡京」、阪急「長岡天神」)
屋号: BEAUTY SALON MARK II

お互いの考えや夢を計画書に落とし込む剛志さん親子



支援の効果

- ▶事業承継計画策定の過程で、経営者と後継者の思いをヒアリングしてこれから先の事業計画に活かすとともに、専門家のアドバイスを受けながら当社の財務分析やビジネスモデルの再確認を進めることで、事業の強みや課題の“見える化”を通じて後継者にも今後の経営の在り方についてじっくり考える機会になった。
- ▶大山崎町商工会にて申請支援をしていた事業承継引継ぎ補助金も無事に採択され、後継者の考える経営革新を進めるきっかけにもなった。



京都府事業承継・引継ぎ支援センター
サブマネージャー 青野理俊

ひとこと

当センターのサブマネージャーに就いて初期の相談対応から詳細ヒアリングを経て、個社案件の完了までをお手伝いした初めての案件となりましたが、後継者となる涼香さんが真剣に経営の在り方や今後の方針を考え、現経営者であるお父様と熱心にお話をされる姿に感銘を受けました。この度の事業承継計画の策定を機に、バトンタッチが円滑に進み、後継者が立派な経営者に成長していく中で事業がますます発展していくことを心より祈念しております。